

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 関 典之

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 生活安全標語を正門に掲出する。
 - (2) 愛の一声運動（あいさつ運動）を実施する。
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 校内美化活動を実施する。
 - (2) 古紙、アルミ缶を回収し、その収益を学校設備資金として活用する。
 - (3) ベルマークの仕分け、集計作業を行い、学校備品と交換する。

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 標語の募集を全校に呼びかけることで、交通安全やSNSに係るものなど、児童が安全に生活するために必要な啓発標語を多く集めることができた。また、選出された標語を看板にして掲出することで、児童や保護者だけでなく、地域の方に対しても、生活安全に係る意識を高揚させる契機とすることができた。
 - (2) あいさつ運動は毎月15日に実施された。児童の中に、地域の方に見守られているという実感が生まれ、月を追うごとに、自ら挨拶できる児童が増えてきた。
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 奉仕作業は、感染症対策のため、少数の役員有志のみで実施した。校庭の樹木剪定や教室のペンキ塗りなど、できる範囲で最大限の効果が得られるよう、内容を精選して実施することができた。
 - (2) 古紙回収も同様の理由で実施は断念し、代替えとして、古紙ボックスを増設することにした。のぼり旗を掲出したり、まちづくりセンターにポスターを掲示したりして、地域への周知に努めた。
 - (3) ベルマークについては、家庭での集計作業に切り替え、対応した。永年の活動が認められ、財団から500万点達成校として表彰を受けた。

—反省点—

特になし。感染症対策のため、見直さざるを得ない事業がいくつもあった。しかし、その都度丁寧に協議し、会員の安全確保を第一に、活動が停滞しない代替え策を講じて対応することができた。

—改善案—

特になし。新しい生活様式に合致した新たな事業立ち上げに向けて、着実に準備を進めることができている。来年度以降も創意ある活動を進めていきたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校

会長名 勝亦 翼

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

・今年度は、コロナ禍で学校行事もP T A活動のほとんどを中止にした。そのため、十分な活動ができなかった。

【今泉小 P T A】

- ・ P T A企画委員会・理事会
- ・ P T A総会 書面決議

【成人教育部】

- ・年1回「会報 いずみ」発行 (10月)

【環境整備部】

- ・古紙・アルミ缶回収 (10月)

【生活指導部】

- ・登下校の見守り
- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼

【家庭教育部】

- ・コサージュ発注・

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・企画委員会にて、役員を選出について話し合うことができた。P T Aの世帯が少なくなってきた現状で、役員選出に無駄な人数をかけていないか、また大役の企画委員の皆さんに負担がかかっていないのかなど、組織を見直す機会ができた。
- ・P T A総会がなくなってしまったが、書面決議という方法があり、より多くの意見を吸い上げることができた。

ー反省点ー

- ・古紙回収のやり方についても、回覧板で回すお便りややり方など、地区に任せっきりの面があり、回収方法の改良や周知の方法を改善する必要があると考えた。
- ・P T A新聞の発行がかなり遅れてしまった。

ー改善案ー

- ・昨年まで古紙回収のお知らせをP T Aの家庭に配付していなかったということだったので、まず保護者向けにご協力のお願いの文書を配布した。
- ・町内会長への回覧板用のお便りは、まちづくりセンターのポストを通して町内会長にお渡しすることにし、役員の負担を軽減した。
- ・役員選出については、子ども会の世話人が中心に行っていることが多いので、理事会への出席について今後検討していく。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校

会長名 土屋 公作

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA 活動目標テーマ

未来の伝法を育てよう ～すべては子どもたちのために～

- ・上記テーマの下、各部ごとにテーマの達成に向けた目標を掲げ、子どもを中心にした P T A 活動を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができなかった。
- ・活動計画を見直し、コロナ禍においても実施可能な形態を各会議で検討して、できる限りの取組を行った。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・コロナ禍において、1年間 P T A として何ができるのか、何が必要なのかを学校や役員と様々な場面で協議し、今まで取り組んできた活動の意義や必要性を見つめ直すことができた。
- ・ P T A の活動として予定されていなかったコロナ禍における新たな学校行事や活動に、部を超えて、 P T A 役員で声を掛け合いみんなで協力することができたことで、互いに信頼関係も深まった。

—反省点—

—改善案—

- ・来年度は、今年度の経験を活かし、「with コロナ」で計画を進めている。子どもたちだけではなく、保護者も学び、新しい生活様式に順応していきながら、新たな P T A 活動の在り方を考えていきたい。そして、新たな P T A 活動へのさらなる理解につながるよう、様々な取組についての広報・周知をしていきたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校 会長名 今村 亨子

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

今年度はP T A活動を大幅に縮小しました。P T Aと学校間の連絡を密にし、活動の必要性や実施が可能かどうかを相談しながら、活動を考えていきました。その中でも、学校の環境整備として、奉仕作業を最優先で行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

トイレ、教室、グラウンドの樹木等の清掃・整備をし、教育環境が整った。

コロナ禍でもできることを考えて取り組むことができた。

—反省点—

—改善案—

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 元吉原小学校

会長名 笠原 幸江

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・地域とのつながりを強くし、保護者・地域・学校が協力して子どもたちを育てる基盤を作ることを重点として各部の活動を実施した。
- ・成人教育部→コロナ感染拡大防止のための諸活動制限下で、工夫して学習に取り組む子ども達の姿を知らせるPTA新聞を作成・配付した。年度末には「松籟」を編集・配付しPTA活動の様子を知らせた。
- ・家庭教育部→卒業生のためのコサージュを準備した。(給食試食会・地区文化祭が実施されなかったため、活動できなかった。)
- ・生活指導部→安全な通学・下校のためにふれあい協力員の方と協力して交通指導を行った。また、通学路にある交通安全の看板を点検し必要に応じて新しいものと交換した。
- ・体育保健部→運動会代替行事日の保護者駐車場の準備、誘導を行い、多くの保護者の参観をサポートした。
- ・環境整備部→地域のシーズイシハラさんのご協力で古紙・アルミ缶回収ボックスを設置した。古紙回収強化週間を設け、回収の量を増やした。また、ボックス設置により地域の方々の協力が得られた。

取り組みの効果

①. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

- ・生活指導部の交通指導に協力してくださるふれあい協力員や地域の方が増えた。
- ・環境整備部が古紙回収強化週間を設けて回収を呼び掛けたので、古紙回収量が増え、地域の方々の協力を得られた。

— 反省点 —

- ・役員以外の会員の PTA 活動への関心が高まらない。コロナ感染拡大防止のため会合開催が少なく、新しい計画を考える機会がなかった。
- ・学校教育の円滑な推進を図るための保護者の自主的な活動を実践できなかった。
- ・制限はあってもできる PTA 活動の話合いを、十分に実施できず、来年度に向けて新しい活動の計画や提案には至らなかった。

— 改善案 —

- ・各部の活動内容について支部長会提案の前に会長、副会長が相談にのり、改善する。
- ・事務局と校内部長や各部の部長との連絡を密にして、効率よく活動を進められるようにする。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 渡邊 條次

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ渦における活動の工夫

(8月 緑地公園清掃 9月 P T A奉仕作業
10月 かけこみ110番 12月 安全の日一斉下校)

やむを得ず中止とした活動が複数あり

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
— 具体的な効果 —

具体的な取り組みとしては、①必要最少人数で行う ②マスクを着用して行う
③ソーシャルディスタンスを取りながら行う ④事前検温、体調把握をしてから行う
等を行った上で活動した。また、活動後の体調管理を各自行うように依頼した。
その結果、活動後の新型コロナウイルス感染症を含む体調異常者はゼロだった。

— 反省点 —

いかに三蜜を避けて開催するかであったり、世の中の情勢を踏まえて考えたりと、
複数の観点から開催の有無を判断するようにした。しかし、子どもたちのことを思
うと、中止とした「どんど焼き」など開催した方がよかったのではないかという思
いが否定できず、結果としてどのようにしたらよかったのか、判断の難しさを痛感
した。そのようなことを避けるため、明確な開催有無の判断基準があった方がよい
と考える。

— 改善案 —

先に述べように、活動開催の明確な判断基準を作成しておく。新型コロナウイルス
拡大防止の方策の引き出しをできるだけ多くもっておき、活動開催の際には、より
多くの方策を講じるようにする。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校 会長名 勝亦 正史

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

今年度はコロナ禍により必要最小限の活動と取組にせざるを得なかったが、一定の効果は得られた。

一方で、コロナウイルス感染防止対策を PTA の皆さんと話し合ったり、こうした状況下でもできること、やらなくてはならないことを、より吟味したりする機会が得られた。本当に必要な PTA 活動は何なのかを考え直す良い機会となった。

地域の祭りやイベント等も開催されなかったことを要因にした活動減の状況を鑑みると、改めて地域と PTA とのつながりを感じられた。来年度は本年度の CSD が PTA 会長になることが決まったり、学校運営協議会に PTA 役員の参加が決まったりと PTA と学校、地域のつながりが深まりそうな機運がある。また、補助金を活用し、今後も役立つ卒業式のコサージュを置くお盆や長机運搬車を購入した。

取り組みの効果

① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

【本部】

PTA 役員の選出方法の見直しや、役員会の回数の削減などの試みをした。市P連主催の Zoom 講演など、新しい形での会合が体験できた。

【生徒指導】

安全の日の下校指導、校区内巡視は安全や命に関わることなので、確実に実施した。非常環境下でも実施できることがあることが分かった。

【成人教育】

PTA 新聞の発行や同中学校区や須津地区への配布により、校内の様子と職員の名前と顔が周知できた。交流が持てない環境下では、貴重な情報源となった。

【体育保健】

分散開催になった中、運動会運営に協力した。

昨年度に引き続き、オリンピック・パラリンピックへの思いや障がい者スポーツへの理解を深めるべく、ボッチャのルールや楽しみ方を部員に広めた。

【環境整備】

PTA 奉仕作業を、親子でなく保護者のみの開催にした。結果として来年度以降も保護者のみの開催とするかどうかは、今後の検討課題とする。

【家庭教育】

卒業式用の物品を購入できた。給食試食会を、感染対策を万全にして開催した。

— 反省点 —

中止や延期された活動が多くあったため、引継ぎがなされているかを確認したい。

— 改善案 —

来年度以降、感染対策に努めながら、少しずつ PTA 専門部活動を再開する中で、活動の見直し、精選を図りたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第一小学校 会長名 鈴木 和徳

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

5つの専門部がそれぞれめあてを決め、活動計画を立てていたが、コロナ禍によりほとんどの活動ができなかった。

できたものとしては、生活指導部の登校時の交通指導と、成人教育部のP T A新聞の発行のみである。

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

交通指導の効果としては、児童の安全確保ができ、今年度、登校時の交通事故は0だった。

P T A新聞の効果としては、今年度保護者が学校に来る機会が減ってしまったので、子供たちの様子が伝えられた。

—反省点—

—改善案—

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校 会長名 浅井 裕美

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年1回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年1回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（親子奉仕作業）➡中止
- ④スポーツフェスティバルおよびマラソン大会への協力
- ⑤P T A読み語りを実施➡中止
- ⑥P T Aいちょう新聞の発行（年2回）

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① 登校の様子を見守り、児童があいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築できたので、効果的だった。
- ② 1回の活動で得られた収益金を、児童のために有効に活用することができた。
- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ④ 運動会の用具準備やテント設営、マラソン大会のコース監視など、教職員だけでは手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ⑥ P T A活動がままならないなかだったが、教職員のことや活動の様子などを知らせることができた。

—反省点—

- ・ R 3年度以降の児童数減少に伴い、5部会あった組織を統合して3部会に再編した。また、役員を地域ではなく学級単位で決めたため、来年度の見通しが立ちにくい。会員数も少なくなったので、取り組む内容を大幅に厳選した。

—改善案—

- ・ 役員数が減少しているので、令和3年度は、取り組むべき内容を減らす工夫をしているところである。また、今までと違った連絡系統で混乱も予想されるが、試行錯誤しながら新しい体制をつくっていく。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 原田小学校

会長名 四條 知美

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 古紙ステーションを活用しての古紙回収
- ② 校内美化活動
 - ・ 校舎回り草刈り活動

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ① 学校からのお知らせにて場所の周知を行う。
- ② 有志での個人単位の活動呼掛け。
(特に日時場所を指定せずに、個人が空いている時間に、気になった場所の清掃をお願いします。用具等は、学校で用意する。協力いただいた方に、記名をお願いします)

—反省点—

- ① なし
- ② 美化活動の予定が9月、個人での活動であればもっと早くの呼び掛けも可能であったのではないかと。

—改善案—

- ① 継続的に、古紙回収の場所のお知らせを行う。
- ② 美化清掃の予定以外にも、年初めに有志を募るお手紙を配布しても良い。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長名 由井 邦幸

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年3回) … 学校行事、P T A活動取材し、写真と記事を掲載

【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A会員全員が年3回程度、当番制で登校の見守りを実施。
- ・ 地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回、古紙ステーションを利用)、奉仕作業。(年1回)

【体育保健部】

- ・ 大淵みんなのオリンピックへの協力。

【家庭教育委員会】

- ・ マスクの作成の呼掛け・配付。
- ・ コサージュ準備、カードの作成 … 卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

【父親委員会】

- ・ 奉仕作業への協力、ビオトープなど環境整備活動

取り組みの効果

1. **有** 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。今年度、最終号はコロナ禍において、授業参観等が中止になり、学校へ行けない保護者へ子どもたちの学校生活、授業の様子を伝える特集を組んだ。

【生活指導部】

- ・ P T A会員全員が年3回程度、当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

【環境整備部】

- ・ 例年通りの古紙回収が難しいと考えたため、古紙回収ステーションを利用し、実施した。会員の家庭だけでなく、地域にも案内を回覧し、地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができた。

【家庭教育委員会】

- ・ コロナ禍において、マスク不足が叫ばれた時期があったため、会員に協力を呼掛け、マスクの作成事業を立ち上げ、実施。協力者と家庭教育委員とで、たくさんのマスクが完成し、マスクが汚れた子、忘れた子などに配付された。

— 反省点 —

▽新型コロナウイルスの影響で多くの事業が中止となった。代案がなかなかでず、新規事業を実施できなかった。代案を話し合う機会も十分に持てなかった。

— 改善案 —

◇来年度に向け、コロナ禍においてもできるような事業の見直しを行っていく必要がある。(場所、人数、活動など)そして、多くの会員が気軽に参加できる方法を考えていきたい。

◇P T A各事業において、コロナ対策を十分に行い、そのアナウンスをしっかりと行うことで安心して参加していただく。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 秋山 智弘

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

<成人教育・生活指導部>

- ・通学路の確認・危険箇所マップの作成・かけこみ110番の家の確認・体育発表会への協力

<体育保健・環境整備部>

- ・奉仕作業（1回）・リサイクルボックス設置（3回）・体育発表会への協力

<家庭教育委員会>

- ・卒業生コサージュ準備

<本部主催>

- ・緑の少年団交流集会への児童引率

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

コロナ禍の中、集まって行う活動は中止にすることが多かったです。しかし、小規模校でP T Aの協力なしでは学校の活動が苦しくなってしまうこともあり、できる活動を無理のない形で行っていくことにしました。

秋の奉仕作業は密にならないように注意しながら行いました。年に2度行っていたものを今年度は1度にしたので、時間がかかり大変だったのですが、P会員全員参加で、熱心に働いてくださりました。

今回、活動内容を一つ一つ検討しながら実施するかどうかを決めていきました。来年度も制約がある中での活動になることが予想されます。しかし、子どもたちが思い切り学校で活動していくためには、P T Aの協力が不可欠です。来年度も、内容を検討しながらできる限りの協力をしていきます。

－反省点－

特にありません。

－改善案－

P T A会員数が少ないため、一人一人の仕事が多くなってしまいます。活動内容を精選して負担感を減らし、意義のある楽しいP T A活動にしていきたいと思います。

令和2年度 P T A活動最終報告
学校名 富士第一小学校 会長名 飯田 竜弥

令和2年度重点活動の具体的取り組み内容

- ・学区内主要横断歩道における登校時の旗振り当番を年間通して実施
- ・資源回収（アルミ缶回収を通年で実施）
- ・P T A新聞発行(年2回)
- ・P T A本部役員による校内クリーン作戦
- ・卒業生へのコサージュ作製（授産所への委託に変更して実施）

当初予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した活動

- ・給食試食会
- ・地域かじま祭りにて「子ども相撲」の準備、運営協力
- ・親子スポーツイベント
- ・運動会への協力（保護者の応援席場所取りの整理、当日警備巡回）

取り組みの効果

- ① 有 ② 無（なぜ効果がでなかったのかを－反省－に記入）

－具体的な効果－

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業により、P T A活動も予定した活動は一時すべてを見合わせた。学校再開後も、P T Aができることは何なのかを考えさせられた一年間であった。学校との協議を重ねる中で、「子どもたちの安全・安心を守ることが第一」という考えに基づいて活動を展開することとした。

登校時の旗振り当番は、年間を通して全世帯にお願いして実施することで、子どもたちの交通安全意識を高められたとともに、P T A会員にも、「学区の子どもたちはみんなで見届ける」という意識を高めることができた。

資源回収は、より多くの方が参加できるように土曜日・学校行事の日程で行ってきたが、密集・密接のリスクを避けるため、アルミ缶回収のみ通年で行う方式に変更した。また、学校から出る古紙や段ボールを不定期に回収して、資源回収に努めた。

「校内クリーン作戦」は、本部役員のみで行った。次年度に向けて清掃する箇所を精選する意味でも有意義であった。

これまで手づくりで行ってきた卒業生へのコサージュ作製を、授産所への委託に変更した。家庭教育部の過度の負担が減り、また授産所に任せることで通所される人たちの仕事も生み出せたので、今後も継続したい。

－改善案－

4 専門部の活動に偏りが是正されてきた一方、コロナ対策で活動ができない専門部の活動について、引き続き検討が必要である。「子どもたちの安全・安心」を考えの基本に置き、持続可能なP T A活動を模索していきたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校 会長名 吉永貴信

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ禍で、P T Aがどのような活動をしているのか、取材した子ども達の学校での様子等の発信、P Rできるよう、活動自粛でイベントも少なかったため、保護者に活動を伝えることが重要と考え、P T A掲示板を作成した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

去年まではブログのみを活用し普段のP T A情報をリアルタイムで発信をしてきたが、なかなか閲覧者数が増えず、ブログ担当部の成人教育部のモチベーションを保つことが大変だったが、掲示板を作成したことにより、情報発信ツールが増え、ブログ内容を実際の掲示板に貼ることで、オフラインで保護者や学校来賓者の目に入るようになった。掲示板作成自体も活動P Rにつながった。

—反省点—

—改善案—

もっと保護者への掲示板の周知、P Rが必要
活用方法をもっと検討し、保護者が見たくなる掲示板を作り上げていく必要がある

令和2年度

富士市立田子浦小学校PTA活動事業実績報告書

事業名	実施月日	内容	参加人員
PTA新聞発行	6月30日	各専門部や教職員の紹介等の新聞を作成し、各家庭に配布した。	15人
卒業生コサージュの仕上げ	2月5日	講師が作ったコサージュの袋詰めと仕上げを行った。	3人
PTA誌「大蘇鉄」発行	3月2日	PTA役員や教職員からのメッセージ、各部の活動報告、各学年の紹介などをリーフレットにして配布した。	15人
PTA古紙回収	常時	学校に設置した古紙回収ボックスを常時開放した。	

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 P T A 会長名 齋藤 崇

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

古紙・アルミ缶回収、親子奉仕作業、スポーツ親睦会、ベルマーク整理、五団体教育講演会……ことごとく中止となりました。学校行事も続々中止となり、サポートも思うようにできませんでした。そんなコロナ禍において、P T Aとして何ができるか、これまでの行事や規約の見直しをしてきました。子どもたちのために、保護者の負担を減らすために、新しい時代に即した活動を考え試行してきました。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

これまでのP T A活動は、単に前年度の踏襲でした。しかし、「前年度と同様」が通用しない今年、改めて活動を見直すチャンスでした。「子どものため」と思って活動していたことが、実はそれほど効果的ではなかったり、保護者の負担が大きかったりしたことが見えてきました。ベルマーク整理では、みんなで集まってやらなくても、家庭に持ち帰って部員がやることで、自分の生活に合わせて活動でき、よりよい方法を探ることもできました。

－反省点－

先が見えないコロナ禍において、先を見通すことが非常に困難でした。急な予定変更や、対応の遅れが理事や役員さん方を混乱させたり迷惑を掛けたりしたことを、事務局として反省しています。

せっかくP T Aの役員を引き受けてくださったのに、思うような活動ができなかったことも、申し訳なかったと思います。

－改善案－

児童数が減少してきている中、P T Aの役員数が変わらないので、何回も役員を引き受けてくださる方がいらっしやいます。また、例年役員決めでは、それぞれの町内で大変ご苦勞されている話も聞きます。持続可能な組織を維持していくためにも、コンパクトで動きやすい組織にしていく必要があります。役員数も活動に必要な人数に絞って行かなければ、と思います。令和3年度は、更なる活動の見直しと組織改善に着手したいです。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 植松 貞治

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会の運営(紙面承認)
- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえ(個別確認後にアンケートを実施)
- ・ P T A新聞の発行(3回)
- ・ 資源回収(通年) ・ 県下一斉補導(7月・12月) ・ 親子奉仕作業(10/24)
- ・ 通学路点検(通年) ・ 子育て研修会味噌づくり(11/25)
- ・ コサージュ作り(コサージュキットを購入し、鷹身工芸社に制作依頼)

取り組みの効果

1. (有) 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ P T A総会は、本来会員の出席により行うものであるが、今年度の P T A活動を始めるうえで、会員の承認が必要であるため、資料を配布し、承認をお願いした。丁寧に資料を作成したため、混乱なく活動を始めることができた。
- ・ 親子奉仕作業では、コロナ禍で密にならないように常任理事と環境整備部員、学校職員で校舎内のトイレの清掃を行った。少人数ではあったが、子供たちが気持ちよく学校生活を送れる環境をつくることができた。

—反省点—

- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえは、確認を個人に任せてしまったので、どの程度それぞれの家庭が確認してくれたか分からない。その後のアンケート結果で確認したが、実際の活動の効果については把握できていない。

—改善案—

- ・ コロナ禍での各行事の運営や募集について、今年度の実態をもとに、より多くの方に参加してもらえるような活動内容を検討する。
- ・ 防災訓練は、地域と各家庭がつながる良い機会であるため、子供たちが地域の防災訓練に参加できるようになったら活動を再開して、これまでに築いてきた結びつきを大切にする参加方法を学校と検討したい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 佐藤 祐樹

令和2年度重点活動の具体的な取組内容

- 成人教育部・・・P T A新聞によるP T A活動の啓蒙（年3回）
- 環境整備部・・・古紙回収（年1回）奉仕作業（2月末時点で実施なし）
- 生活指導部・・・1・4年生の交通教室の協力、かけこみ110番の家の確認
- 体育保健部・・・体育祭への協力

その他

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の予定よりも理事会や専門部会の実施回数を減らした。また、計画していた活動を見直し、回数や実施方法を変更した。
- ・理事会や専門部会等の時間を明確にした。負担感を減らすため、理事会は19時から、専門部会は、19時30分から実施した。（全ての会議を1時間以内で実施）
- ・今までのP T A行事の意味を再確認し、必要な行事のみを実施した。
- ・学校評価の集約結果から、令和4年からP T A組織の見直しをしていく予定を組んだ。

取組の効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

成人教育部

- ・日々の教育活動やP T A活動を知ってもらえる機会となった。また、学校での新型コロナウイルス感染症防止に向けての取り組みを家庭に紹介することができた。

環境整備部

- ・密を避けながら地域の協力を得て、古紙回収を実施した。

生活指導部

- ・かけこみ110番の家を再確認し、携帯等から検索できるシステムを導入した。また地域の危険箇所について確認し、改善のための提案をした。

体育保健部

- ・密を避けながら、子どもたちの活動を支えることができた。

その他

- ・理事会を19時より実施した。専門部会については、必要のあるときだけ実施した。今年度から、理事会前に正副会長会を行い、議題の共通理解を図った。
- ・地域の声を聞く会、行政懇談会など、地域の意見を聞くことができた。

－反省点－

- ・部員同士の連絡や共通理解を図るために、オンライン等を活用していくことを検討している。

－改善案－

- ・今年度、実施しなかったことや実施しなくても困らなかった活動等を洗い出し、来年度の活動につなげていく。
- ・継続して、1人当たりの負担軽減のため、長時間参加する行事は拘束時間を短縮し人数を分散する。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 丘小学校 会長名 後藤 彰広

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

コロナ禍の影響により多くの事業が実施できなかった。しかし、そのような状況ではあったが、これまでの PTA 活動の再検討や、新たなアイデア創出の協議などを行った。また、コロナ対策の備品として体育館用の大型扇風機等の備品を行った。

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
—具体的な効果—

コロナ禍においても、できるだけ学校のため、子供たちのためとなるよう PTA として活動することができた。コロナ対策物品については学校と協議し、必要なものを必要なタイミングで導入することができた。

—反省点—

新型コロナウイルスの影響により、多くの事業を見送ることになったが。今後は真に必要な事業を考えるなど、新たな PTA としての在り方を検討していく。

—改善案—

時代に合った PTA への変革を目指す。

役員の会議等への負担軽減を目指す。

ウェブ会議システムなどのツールを活用し、運営の合理化を行う。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 下田 良秀

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A資源回収（コロナウイルスの感染拡大防止のため、従来通りの古紙回収を取りやめ、保護者参観に合わせて資源回収を行った。古紙は、業者をお願いしてボックスを門の外に設置して集めた。）

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 年2回日曜日に、P T A役員、職員、6年生が学校に来て2～3時間地区を回って回収していたので、その負担が減った。（コロナ禍で、古紙を自家用車等に乗せるリスクもない。）
- ・ 環境整備部の役員数が多くなくても活動できるため、来年度の役員数を大幅に減らすことができた。
- ・ 昇降口で、アルミ缶・牛乳パック・廃油を集めたら、初めてでも協力してくれる方が多かった。これが定着したら、「保護者の来校時は資源を持っていく」という意識ができると期待している。

—反省点—

- ・ 台風にも見舞われたため、古紙ボックスの設置が遅くなってしまった。
- ・ 急なことで初めて行ったので、集まった物を役員がとりまとめることができず、教師だけでとりまとめることになった。

—改善案—

- ・ 来年度は、役員の仕事としていつ何をやったらよいか計画を立て、実行できるようにしたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 渡邊 貴之

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回） 三校合同イベント主催
- ・生活指導部 交通安全街頭指導 4年生自転車教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収
- ・体育保健部 運動会協力
- ・家庭教育部 給食試食会 運動会ご褒美配布
- ・父親クラブ 奉仕作業協力

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・成人教育部 PTA 会員の皆様が楽しめる内容を心掛け、新聞を発行することができた。
- ・生活指導部 PTA 会員の順次参加でコロナ禍の中でも、できる範囲で交通安全街頭指導、理事パトロールを実施できた。
- ・環境整備部 奉仕作業では、大勢の参加者で、けが人もなく協力して学校内外をきれいにする事ができた。古紙回収をスムーズに行うことができた。
- ・体育保健部 運動会の駐輪場の設置、見回り、パトロール等、運動会運営の協力スムーズに行うことができた。
- ・家庭教育部 給食試食会は、昨年と同じ内容ではないがスムーズに進められた。
- ・父親クラブ 「学校のかいだん」に替わる新たな、行事を考案することができた。

－反省点－

- ・旗振りの用具を紛失してしまった地区があった。
- ・運動会のパトロールでは、学校関係者と保護者の見分けがつきづらかった。喫煙所を設置すればよかった。送迎の車への対処が遅れた。
- ・コロナ禍で、バザーを行うことができなかった。在庫品の処理が課題である。
- ・コロナ禍で、中止になった行事が多く、もどかしかった。来年度は、すべて中止というだけでなく、できることはできる形で実施したい。

－改善案－

- ・父親クラブの会則の目的を鑑み、「学校のかいだん」に代わる安全を確保し、親子三世代で交流できる取組を考案した。
- ・古紙回収は、各地区の負担を減らすために、環境整備部員が主となって取り組むことができるように変更した。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 渡邊 守彦

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
- 2 P T A会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・平成30年度、31年度に、P T A会則を改正した。(本部役員・各専門部役員を選出方法を地区制から学年制に変更。各部員の構成を4、5年生のP T A会員全員に変更。)本年度は改正から2年目となり、新体制での運営・活動を引き続き行った。
- 3 各専門部の活動
 - 【成人教育部】
 - ・P T A新聞作成に向けた取材活動。(少ない人数で実施)
 - ・例年より紙面量を減らしてP T A新聞を発行した。
 - 【生活指導部】
 - ・かけ込み110番の家への挨拶は郵送にて行った。
 - ・長期休み明け登校指導に、全家庭年1回、協力していただいた。
 - 【環境整備部】
 - ・地域の協力を得て、コロナ禍でも米作り活動を実施することができた。その米づくりの各作業に協力した。
 - ・古紙、アルミ缶を学校にて常時回収した。夏休み明けから開始した。
 - 【家庭教育委員】
 - ・例年6年生保護者に作成していただいていた卒業生へのコサージュは、人が集まることを避けるため、完成品の購入に変更した。

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
 - ・コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動を中止または規模縮小とした。感染拡大状況を踏まえ、無理をせず可能な範囲で活動を実施した。
- 2 P T A会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・役員選出に際しては、改正された方法が保護者に浸透してきて、役員を順調に選出できた。
- 3 各専門部の活動
 - 【成人教育部】
 - ・P T A活動が中止・規模縮小となり、例年通りの記事が用意できなかったため、P T A新聞は紙面内容を変更・縮小して発行した。縮小しながらも、1年間の活動を伝える新聞を発行することができた。
 - 【生活指導部】
 - ・長期休み明け登校指導は2年目を迎え、担当の割り振り、お知らせ配付等の流れが確立してきた。保護者の協力も得られている。
 - 【環境整備部】
 - ・感染拡大状況により、7月から米作りへの協力を開始した。米作りが、学校主体となって4年目となり、学校での実施方法、P T Aとの連携・協力体制が確立してきた。
 - ・古紙、アルミ缶回収のお知らせを地域にも発信したことで、保護者だけでなく地域の方からも回収に協力していただいた。

－反省点－

- 1 コロナ禍でのPTA活動を考える
 - ・コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動を中止または規模縮小とした。実施についての判断の難しさを感じた。
- 3 各専門部の活動
 - 【環境整備部】
 - ・古紙，アルミ缶を学校に持ち込んでいただくにあたり，回収場所が分かりにくいとの指摘があった。おたより等で紹介するようにしたい。
 - 【生活指導部】
 - ・長期休み明け登校指導は，担当日及び場所のお知らせを7月に一斉配付している。そのため，実施日までに間があいてしまうため，休み明け前日にまちコミメール等でお知らせをしたい。

－改善案－

- 1 コロナ禍でのPTA活動を考える
 - ・令和3年度は，コロナウイルス感染拡大防止に努めながら，状況に応じて実施できる活動は実施できるようにしていきたいと思う。
- 2 PTA会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・引き続き，役員選出に関する情報を保護者に発信し，支障なく役員選出ができるように努めたい。
- 3 各専門部の活動
 - ・「誰でもできる活動」にするため、各部の活動内容をさらに見直し、活動の精選を図りたい。
 - ・コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ，各専門部の活動について，活動内容の変更，実施方法の工夫等を図っていく。
 - ・古紙，アルミ缶の回収場所をお知らせするとともに，回収結果についても適宜お伝えしていく。
 - ・登校指導に際し，地域の方から安全ベストやたすき等の着用を助言いただいた。令和3年度は安全ベストを各家庭に1枚配付し，活用していただく。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 佐藤寛之

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

令和2年度の重点活動の具体的な取り組み内容

奉仕作業（10月17日作業） 人数66名

作業場所 校内トイレ掃除・階段掃除

時間 9:00～12:00

取り組みの効果

1. 有

—具体的な効果—

トイレ掃除は毎年やっていて、うちの学校はトイレが全然臭わないと生徒や保護者からも言われています。

階段掃除をすることで、階段で滑ってけがをする人が少なくなっています。

—反省点—

なし

—改善案—

なし

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小 会長名 小池義治

P T A活動最終報告を提出するように求められていますが、この報告書が、(各単PにおけるP D C AサイクルのC h e c kになるなど、) 次の活動に十分に活かされているのか疑問に思っています。この報告書を作成するにあたって各P T A会長はパソコンに向かい小一時間を費やすことになるかと想像しますが、その労力は、何か児童・生徒の学校生活を良くすることに繋がっているのか、ということについて今一度、市Pの中で検討する機会をもって頂きたいと思えます。

今年度はコロナ禍で、当P T Aの殆どの事業が中止・縮小になっており、それは日本中のP T Aが同じ状況だと思えますが、そこで改めて問われているのが「P T Aの存在意義」ではないでしょうか。我々P T Aは、何のために存在するのか、何のために保護者は貴重な時間を割きP T A活動をしているのか(しなければいけないのか) について…。

当P T Aでは会則に、その目的として『本会は、保護者と教員が協力して家庭と学校と社会における児童の幸福と教育の向上を目指すことを目的とする。』と書かれています。すべてのP T A活動が、この目的に向かうべきであり、目的に沿わない事業は削ぎ落してスリム化しなければいけないと改めて感じた一年でした。共働き世帯が過半数となる状況の中で、これまでも改革を進めてきましたが、コロナ禍を経て感じたことは、「改善する」というより、すべての事業の本質を問い直し「ゼロベースで事業の存廃を見極める」ということです。

一昨年も昨年もやっていたから今年もやる、という惰性で続いてしまっている事業もあったように思います。それは市Pにおいても同様に感じます。

(令和2年度は、特筆すべき事業を行っておらず特に報告する事項はないため、市Pへの提言ということで記述させて頂きました。)

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 三浦祐弥

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・臨海線通学路の設定・通学路変更・見守り
- ・古紙回収を、常設で設置することにした。

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ・まちづくり協議会と協議を重ね、通学路の変更やP T Aと協力して旗振り（見守り）をすることになり、子どもたちの登下校の安全を見守ることができている。
- ・古紙回収日を設定しなくても、定期的に古紙の回収ができている。

—反省点—

—改善案—

- ・通学路に限らず、まち・学校・P T Aが一体となり、子どもたちの成長を見届けていきたい。
- ・地域にも古紙回収を常設で設置することをお知らせし、更に回収量を増やしていきたい。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一小学校 会長名 江口 秀明

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

・ P T Aふれあいフェスタ

全校児童・保護者・地域の方に呼び掛けて行う活動。今年度はコロナ禍での開催となる為、例年の模擬店やバザーの販売、外部団体の参加を中止し、感染予防対策を講じたうえで食品の事前注文と児童イベントを計画した。また、6年生が修学旅行を控えていた為、年間計画当初の開催日を変更しての開催とした。

・ 6年生 夜イベント（きもだめし）

小学校生活最後となる6年生に何か出来ないか、との思いから行われたイベント活動。6年部の先生方が中心となって立案。校舎内に置かれたカード（文字）を集め言葉を導き出す。

取り組みの効果

1. ⑦ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

ー具体的な効果ー

・ P T Aふれあいフェスタ

12月に富士市内のコロナ感染者が急激に拡大した為、開催を中止し、事前注文品の受け取りのみ行った。フェスタ開催は中止となってしまったが、コロナ禍でも開催できる方法を見出す事ができた。コロナ禍の連絡の難しさ（情報の発信受信の食い違いやコムにケーション不足）もあったが、気持ちに寄り添った発信をしていく大切さを改めて気が付かされた。

・ 6年生 夜イベント（学校内ナイトハイク）

保護者の協力もあり夜にも関わらず問題なく開催することができた。脅かす等の演出もなく、派手なイベントも無かったが、夜の校舎を歩く、夜にみんなで集まるといった事だけでも子供たちには十分楽しめるイベントになった。

ー反省点&改善点ー

・ P T Aふれあいフェスタ

イベント景品がある事を伝えきれなかった為、景品が余ってしまった。感染予防の観点から呼びかけ方法も定まっていなかった部分もあるが、誘導を工夫していきたい。また今回本部役員と教職員での運営になってしまった。専門部役員にも何か役割を付けてあげたかった。

・ 6年生 夜イベント（学校内ナイトハイク）

6年部の先生にほとんどお任せになってしまった。

全体を通し、コロナ禍でも活動できる方法を見出すことが出来た。

令和2年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 深澤 有一

令和2年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 情報モラル講座の開催
- ② 「かけこみ110番の家」登録依頼
- ③ PTA新聞の作成
- ④ 奉仕作業（草取り、せん定、排水溝の土砂取り、池の清掃、トイレ清掃）の実施
- ⑤ 登校時における交通指導
- ⑥ 給食試食会の開催
- ⑦ PTAが集まる会議では、内容を精査し資料を準備することで短縮を図った。

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① 情報モラル教育として、5・6年生児童を対象にネット依存について講演をした。ネットの危険性や上手な使い方等を伝えることができた。事前アンケートをまとめ、保護者に配付することで、保護者の意識を高めることもできた。
- ② 「かけこみ110番の家」の登録件数を増やすことができた。地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ④ 奉仕活動により、普段は手の行き届かない運動場やトイレの環境を整備することができた。
- ⑤ 登校時における交通指導と見守りを行ったことで児童の安全が保たれた。
- ⑦ 会議の短縮を図ることで参加する保護者や教員の負担を軽減することができた。

—反省点—

—改善案—

- ・ コロナ禍でもできるPTA活動を模索していく。
- ・ 各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにする。
- ・ 令和4年度から施設一体型の小中一貫校となり、いずれPTAも一つに統合していくので、小学校と中学校のPTA組織や活動内容を少しずつそろえていきたい。